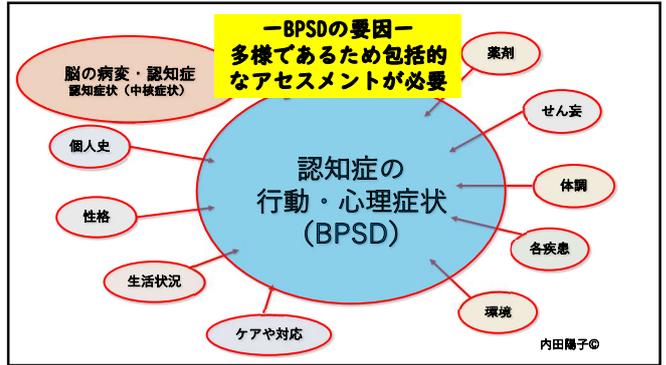


**「包括的BPSDケアシステム®の電子版」
ご紹介**
 <2020年の成果：2021年1月23日現在>

群馬大学大学院保健学研究所
内田陽子

本教材の一部は2020年11月27日群馬テレビ・ビジネスジャーナル放送、2020年12月6日提示
 2020年12月6日群馬認知症アカデミーでも一節紹介
 著作権は群馬大学内田陽子と下田工業にありますので、無断の使用、複製等にご遠慮ください

1



4

**認知症ケアの転換
個人の忍耐・経験→知の蓄積・電子化へ**

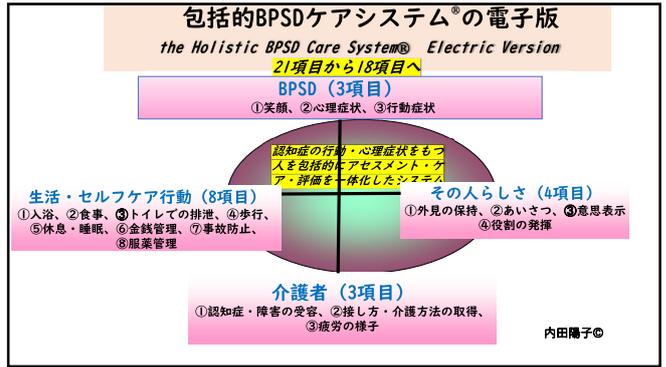
- ・誰でも認知症になる・認知症のケアは避けられない時代
- ・個人の忍耐と経験だけに頼る時代ではない。
- ・ひと・もの・カネも不足していく時代

→認知症ケアの転換
知とデータの蓄積による電子化システムへ

<研究のプロセス>
 科研費（認知症ケアのアウトカム評価に関連した複数のテーマ）→
 日本医療研究開発機構AMED（2017-2019年度：JP19ak0207033山口晴保先生代表）→
 2020年度：群馬大学内田陽子と下田工業との共同研究で商品化<社会実装へ>

←電子版包括的BPSDケアシステム®イメージキャラクター
 ダブルレッド・R（内田陽子手作り）

2



5

BPSDとは
 BPSDはケアするときに困るものであるが、ケアで軽減・改善できる可能性がある

・認知症の行動・心理症状
 (behavioral and psychological symptoms of dementia; BPSD)

↓

・行動症状
 徘徊、焦燥/攻撃性、介護に対する抵抗など

・心理症状
 妄想、誤認、幻覚、抑うつ、不眠、不安など

(監訳/日本老年精神医学会、第2版認知症の行動と心理症状BPSD、アルタ出版、2013年、p32、p45から抜粋)

3

例：行動症状

回答欄 (アセスメント番号)	ケア項目
0: 週に1回もない	<input type="checkbox"/> 原因・背景の追求
1: 週に1回ある	<input type="checkbox"/> 環境整備
2: 週に数回ある	<input type="checkbox"/> 訴えを聞く
3: ほぼ毎日ある	<input type="checkbox"/> 安心させる優しい声かけ
4: 毎日ある	<input type="checkbox"/> 薬の副作用の確認
その他 ()	<input type="checkbox"/> 今の不安を受け止める
	<input type="checkbox"/> 徘徊に付き合う
	<input type="checkbox"/> 散歩をする
	<input type="checkbox"/> 不快なものを取り除く
	<input type="checkbox"/> 医師の主治医の治療調整
	<input type="checkbox"/> 医師の薬剤の調整・検討
	<input type="checkbox"/> その他 ()

本人の状態に該当するものをチェック

実施したものをチェック

このようにアセスメント番号とケア項目実施を18項目チェックしていきます

内田陽子©

6

<BPSD (3項目)>
 実際の観察からアセスメント番号を入力してみます
 例：①笑顔、②心理症状、③行動症状

①笑顔
 ②心理症状
 ③行動症状

①**笑顔**：毎日、怒ったような表情。
 アセスメント番号：4

②**心理症状**：「ここはどこ？心配でかたいません。」と毎日、何度も訴えています
 アセスメント番号：4

③**行動症状**：毎日注意すると相手を叩きます
 アセスメント番号：4 内田陽子©

7

アクションプランの立案
 個別ケアも立案できます

アクションプラン

プラン名	(行動症状改善プラン)	←18項目からターゲットを定める
プラン目標	(相手を叩く行動がなくなる)	←実現できる個別の目標を記述
実施項目	(注意するのではなくお願いする) (家事を手伝ってもらい感謝する) (睡眠・便通など体調を確認する)	←実施できる個別プランを記述

内田陽子©

10

電子版システムの画面の一部
 -アセスメント・ケア実施-

～アセスメント入力・ケア実施入力～

看護師が実施

1. BPSDの項目 (3項目)

1. 笑顔
 笑顔が顔から見えますか？
 0-4の5段階
 0→正常
 点数が高い→悪い状態

2. 心理症状
 2. 時折笑顔が見られる
 3. あまり笑顔が見られない
 4. 全く笑顔が見られない

3. 行動症状
 家族が時折来られた時だけ笑顔が見られる

アセスメント番号
 利用者の状態に該当する番号を1つ選択

ケア項目
 実施したケアをクリック

その他のケアや特記事項があれば記入

内田陽子©

8

電子版システムの画面の一部
 -アクションプランの立案・実施-

対象者の状態に合わせ個別の計画を立てる

アクションプラン確定

プラン名 入力できるプラン ※必須 ※全角90文字以内

プラン目標 適に2回入力できる ※必須 ※全角90文字以内

実施項目
 「笑顔をいっせよ」などとポジティブな声かけを行う ※全角90文字以内
 お風呂の道具 (洗面器やタオル、石けん) を見せて用意をもらう ※全角90文字以内
 ※実施項目を追加

再び、アセスメント番号・ケア項目実施を入力

内田陽子©

11

18項目すべてを入力すると弱みだけでなく強みもわかる

大項目	小項目	第一回目
BPSD	笑顔	4
	心理症状	4
	行動症状	4
生活・セルフケア	入浴	4
	食事	1
	トイレでの排泄	1
	歩行	0
	休息・睡眠	3
	金銭管理	4
	事故防止	3
その人らしさ	服薬管理	1
	外見の保持	4
	あいさつ	1
介護者	意思表示	2
	役割の発揮	4
	認知症・障害の受容	3
	接し方・介護方法の取得	3
	疲労の様子	3

弱み：赤字
 笑顔、心理症状、行動症状、入浴、金銭管理、役割の発揮

強み：青字
 歩行、食事、トイレでの排泄、服薬管理、あいさつ

内田陽子©

9

ケアの成果 (アウトカム評価) も可視化

大項目	小項目	第1回	第2回	アウトカム評価
BPSD	笑顔	4	2	改善
	心理症状	4	2	改善
	行動症状	4	0	改善
生活・セルフケア	入浴	4	1	改善
	食事	1	1	維持
	トイレでの排泄	1	1	維持
	歩行	0	0	最高値持続
	休息・睡眠	3	3	維持
	金銭管理	4	4	最低値持続
	事故防止	3	3	維持
その人らしさ	服薬管理	1	0	改善
	外見の保持	4	0	改善
	あいさつ	1	0	改善
介護者	意思表示	2	1	改善
	役割の発揮	4	1	改善
	認知症・障害の受容	3	3	維持
	接し方・介護方法の取得	3	3	維持
	疲労の様子	3	3	維持

内田陽子©

12

電子版システムの画面の一部 —アウトカム評価—

～アウトカム評価の自動判定～

1回目の評価登録 0 (正常): ■ 1: ■ 2: ■ 3: ■ 4 (最低値の状態): ■

2回目以降の登録 改善: ■ ■ ■ ■ 維持: ■ ■ ■ ■ ■ 悪化: ■ ■ ■ ■ ■

評価項目	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目
1. 歩行	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2. 歩行中一歩数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3. 歩行中一歩数変化	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4. トイレでの歩行	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
5. 歩行	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
6. 歩行・転倒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

アセスメント番号を比較してのアウトカム評価が色別矢印が表示される

内田陽子©

13

「包括的BPSDケアシステム®の電子版」運用イメージ

システム入力

専門家・他職種からアドバイス
カンファレンスも可能

現場でBPSD発生

遠隔からの送受信が可能になります

遠隔から患者様の状態をキャッチ、有効なケアをアドバイスが可能です

内田陽子©

*2020年から群馬大学内田陽子と下田工業株式会社との共同研究で商品化をすすめています

14